

# 園庭全体の しつらえ

土屋真砂子

環境と保育

子どもに呼びかける園庭（門から玄関へ）

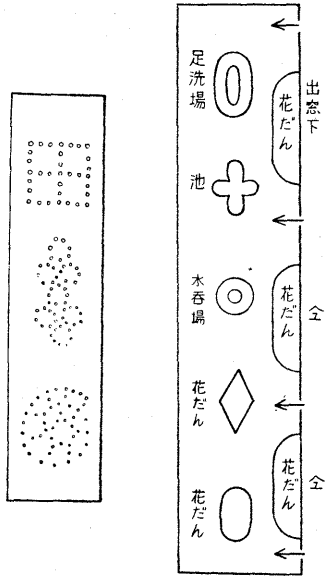
幼稚園の朝の門に咲く幼い顔の花々、元気な子、はにかむ子、気むずかしい子、実に十人十色。このさまざまな心に「おはよう」の手をさしのべながら、いつも考えていますことは、この子どもたちが門に立った瞬間「あっきれいな花が咲き出した、早くいってみよう」「うさちゃんお腹がすいていないかな」「いんこうの赤ちゃんどうしているかしら」「ぶらんこに乘ろう、おすべりも待ってるぞ」と何となく愉快的雰囲気を引きつけられて、園生活に飛び込んで来なくなるような、すばらしい園庭の営みをしたものだということ  
です。

大公園に観る噴水を中心に放射状に築かれた池や花壇、あふれる滝水におどる鯉の群、配色美しく植え込んだ花々、お伽の国のよう

な小鳥や動物の家、興味満々の運動遊具、あの文化と自然とほどよく織りなした人工美の一角を、わが園にも欲しいと思うこともありませんが、それは園外保育の味わいに任せるとして、幼稚園では子どもと先生と一しょになって、時には植木屋さんのお手伝いをする範囲で、手足まめめしく心をこめて育てていく、素材で健康的で、保育内容の充実した経験に常に役立つ、生々とした動きのあるお庭のしつらえが望ましい姿ではないかと思えます。

つる草の生い茂って咲く生垣、象やきりんさんの絵のある門、玄関への両側には柴桜のような小花の行列、続いて三角四角六角いろいろな形の花壇、赤い橋のかかったひょう池、ばらや朝顔の這い上るアーチ、小鳥の家や動物の家、これらを遠く囲む つつじ、雪柳、これにしだ類の灌木、その背後には銀杏、紅葉、桜、どんぐりなど背の高い常緑樹や落葉樹が、左右のバランスよく、季節の変化を考慮して植えつけられているとしたら、子どもたちはきつと毎日愛らしい露路の花々に靴をぬらし、小鳥の歌声に心はずませて登園してくることでしょう。また蝶々を追い、蟻の行列をみつめ、草をむしり落花落葉を拾って、四季の観察遊びを満喫することでしょう。テラスの中にも自然や遊び場の工夫を（保育室の窓近く）

新しい様式の園では、南や東に陽当りの良い窓を開いて、お庭に連なる広いテラスを設けてありますが、非常に備えるためにも、遊びが内から外へ自由に解放的に流れていくためにも、健康衛生の上からも、利用価値多く結構な設備だと思えますが、私は眼を射る



ようなコンクリートの白い光、夏の焼けつくような暑熱、冬の凍てつくような冷寒を、少しでも和らげ、曖昧をたたえたいと思ひまして、所々に小さな花壇や池、足洗場や水呑場、砂場などを愛らしく造ってみました。変化に富んだ情緒的な遊び場として子どもたちに活用されています。また他園で小さな黒い石を無雑作に図案的にちりばめて、田の字やうず巻の石けりの場としているのを見ましたが、子どもの心理を把握したよい工夫だと思ひましたので、是非まねて実行したいと考えています。

**運動遊具の配置や休息の場（庭の周囲に）**

ぶらんこ 滑り台 雲梯 杵登り 廻転などは、いずれも教育的価値大きく、外遊びの興味集中の王座であります。広い場所を占め、危険の問題も伴いますので、保育室から眼のとどく範囲、しかもかけ廻って遊ぶじゃまにならない庭の周囲、落ちてもけがない

軟かい地盤、緑の葉陰や藤棚を載くような所、次から次へと伝って遊べるように位置づけたいものです。

だんだん登りを楽しんでお山の大将ごっこ出来る築山も欲しいもの一つです。下にはトンネルを掘って、かくれんぼや汽車ごっこに役立たせたいものです。山裾にひろがった芝生の上では、全園児が揃って食事をしたり、ねそべって休息ができますようにしたいものです。

ぶらんこを吊るしたり、木登り遊びの快感も味わえるような大きな古木も是非欲しいと思ひます。

**杵を外した砂場の造形（全園庭）**

杵の中の砂場、砂に恵まれない園にあっては、一握千金の砂場の維持に気苦労多いことと思ひますが、全庭砂場の園にあっては恵まれるままの幸福に馴れ過ぎて、子どもたちの大好きな砂場遊びもつい自由放任になってしまいがちだと思ひます。そこで私は砂場遊びの誘導はわが園の命とばかり叫んで研究奨励したいものといつも考へています。

庭一面に描いた線路を走っての電車遊び、山や川を築いての町づくりや村づくり、舟や飛行機、動物、人形などを掘っての彫刻遊び、松笠をならべての図案遊びなど、ときどき大がかりな造形遊びを繰りひろげて、これをすべり台や杵登りのでっぺんから鳥瞰したとしたら、共同の偉大な力に、美事なデザインに、成功の快感を味わうことでしょう。

（日出学園幼稚園）